

子どもの学び発見シート



◇学校区の共通の視点

◇ねらいなど

参観日 令和 年 月 日() 時 分～ 時 分 場所()

子どもの姿・学びの様子

○保育者の援助・教師の支援◇環境の構成

備考

次に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、三つの視点及び五つの領域に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の5歳児後半に見られる具体的な姿であり、保育者が保育を行う際に考慮するものである。

1 健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

2 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい自信をもって行動するようになる。

3 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

4 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくり、守ったりするようになる。

6 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

5 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、役割を担いながら活動するようになる。また、公共の施設を大切に利用するなどして社会とのつながりなどを意識するようになる。

7 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

9 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

10 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

大館市ファシリテーター研修会Ⅱ 資料Ⅱ

小学校以上で「育成を目指す資質・能力」と幼児教育で「育みたい資質・能力」

小学校以上

個別の知識や技能

(何を知っているか、何ができるか)

思考力・判断力・表現力等

(知っていること・できることをどう使うか)

学びに向かう力、人間性等

(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)

※下に示す資質・能力は例示であり、総合的な指導を通じて育成される。

幼児教育

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになる

「知識及び技能の基礎」

- ・基本的な生活習慣の獲得
- ・様々な気付き、発見の喜び
- ・規則性、法則性、関連性等の発見
- ・日常生活に必要な言葉の理解
- ・身体的技能や芸術表現のための基礎的な技能の獲得 等

気付いたことや、できるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

「思考力、判断力、表現力等の基礎」

- ・試行錯誤、工夫
- ・予想、予測、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・言葉による表現、伝え合い
- ・振り返り、次への見通し
- ・自分なりの表現 等

遊びを通しての総合的な指導

- ・思いやり・安定した情緒・自信
- ・相手の気持ちの受容・好奇心、探究心
- ・葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ・話し合い、目的の共有、協力
- ・色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ・自然現象や社会現象への関心 等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

「学びに向かう力、人間性等」

【参考】中央教育審議会（第109回）配付資料（H28.12.21）
（平成29年3月告示）

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領